Vol. 32 No. 9013 Friday January 1 1937

TAIRIKU NIPPO

昭和十二年一月一日（金曜日）第九千十三號

大陸日報

TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA LTD.
213 & 215 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, B. C.

新年號（第四）

中川源太郎翁 あらすか難船實話

山本倫由

はしがき

玆に紹介するは奥座敷に閉籠勝ちの一人たる中川源太郎翁がまだ若かりし時に遭遇した、海に小舟よりも寄辺なき難船實話である。これは昨年の春の一夜、中川翁が自慢の義歯を忘れたと知るとに始められたのを、私はこれを来る新年號の爲にその夜の中に掛めたので、中川翁が正確に憶えてゐない地名などを調べる迄がなかつたために多少間違つたところがあるかも知らぬがそれは何れ中川翁が調べて正確な事實を作つて呉ることになつてゐるから、私は飽迄も中川翁の話した儘を、物語り風に書き流してみることとする。

臘虎船クリスチ

明治廿二年の或る日

中川源太郎翁は慶應三年に唐島縣萱場郡下見村で生れたのであるから、本年で七十歳となるわけである。この物語りは一八八九年の三月から始まる。即ち明治二十二年廿三歳の時、當時の中川翁は小間物の行商人となつて北海道の函館に行つてゐた頃の事である。

函館に着いてみると、それは来國から来た臘虎船の船長で、船に毛皮が二枚出来たので、その補足としての經驗もあり、それに筆々渡来する船にしてゐたので、これは渡りに船といふわけで、同船人の樽出基を通ふて乗船することゝなり、一ケ月分の給料として米貨十五弗を前金で貰つたのであるが、何しろ行商の小間物が大分にあるので、それの函館の古物屋に賣つたら百弗になつたので、それを金瀧屋出基と二人して一艘中に積込んで船しようとするが、何んせ明治二十二年頃の百弗は今日の千弗、函館の財界は横濱のオリムピックみたいに湧き返つたそうな。

そしてその翌日臘虎船クリスチ一號に乗込んで、米國に向けて函館を出帆したのであつた。船は座か百二十噸ばかりの帆船で露國人の船長以下乗組二十七名の中日本人は中川氏と横山氏唯二人であつたそうだ。そして臘虎船とは即ふものゝ、臘虎は却々見附かるわけのものでなく、主に臘虎船を捕獲したのであるそうだが、當時の航海で臘虎船が五、六十弗から百弗位であつて、臘虎となると四、五百弗から千弗もするといふ高價なものであつた。

密猟に成功して引揚げ

かくして主にアラスカ方面で臘虎をしたのであるが、その臘虎猟の方法といふと、船長や航海士が船の小山から鏡で海面を見廻して、一匹々々と探し出すのだが、その臘虎の群れを見附けると、その方向に向つて船を進めるのだが、臘虎は敏感な動物で、そこには臘虎船がゐるといふ事を知つてゐるかの如く、容易に近くに寄つて来ない。そこで船長や航海士が考へ出したのが、クリスチー號も一艘

中川老の難船實話

◇—アラスカで九死に一生

四十七年前の思出

（第一面より續く）

それと一同にも話したのだがそんな事を言ふ人は一人もない、そこで中川氏は横山氏だけは無理に焚火の傍を離れしめて、一生懸命に雪集めなどに働かしたり、運動をやらしたりして、急に暖めやうにしたが、白人の仲からも病人が一人だけそれに續いて、横山氏などと一緒に一生懸命に働いたり、運動したりして自重したが、遂に、僅か一本の凍傷で濟んだが、日本人三人とこの瑞典人を除く他はひどい凍傷にかゝつてしまつたのであつた。

大蟹ご貝を拾つて食ふ

幾りの中に穴を掘つて一同が穴住居を始めた晩に四人の人が凍死した。また三日目に二人凍死し、三日目にまた一人死んで、四日目に最後の死者を出して、全部で二十七名の中で、十五名がこの遭難で死んでしまつたのである。

幾りの十二名は元氣な者が勇氣をつけ合つて、死ねば屍といふ覺悟で海濱に來て、蟹ご貝を拾つて食ふ事にした。

その夜も曉方に近づいて、船の見えないのに「ホーイ」「ホーイ」と呼ぶ聲がするので出てみると、横山氏が一番駈けに戻つて來たのであつた。その中にポツ〳〵と十二名の者が全部船に戻つてから、五日目の朝であつた。

船に戻つてからは天候も好天氣で、ゼームス・ベイといふ處まで送られて、そこにあつたキナリーの船でアラスカ本土に近いウッド・アイランド（9）に送られたのであつた。

コックの死骸が船に戻つてゐる

その夜中川氏は例のストーブを燃やして、幾つてゐた米を炊き出して飯を焚き、潮流の緩やかになつてゐる船室の蓆を取除いたり、運動したりして自重したが、その中からメーツと一聲に、犬に飛びついて來たのであつた。見ると手首に刺青があつてそれが晃氣のあるコックの手であつた。そして水中で引摩かしてみると、遭難最初の日に漂流して行つた時に、はいてゐた縞のパンツもその時の儘であつて、海上遙かに漂流してゆくのを確かに見た中川氏は、その死骸が何時の間にか、もとの船に戻つてゐるといふ事に不思議を感じたことであるが、これはをそらく五日の間に幾度か船は潮流となつて、その死骸が船の周圍を漂ひながら、一番駈けに戻つて來たのであつたらう。それにしても、不思議なこともあつたものである。

土人の襲來

その夜中川氏は例のストーブを燃やして、幾つてゐた米を炊き出して飯を焚き、潮流の緩やかになつてゐる船室の蓆を取除いたり、運動したりして自重したが、その中からメーツと一聲に、犬に飛びついて來たのであつた。見ると手首に刺青があつてそれが晃氣のあるコックの手であつた。そして水中で引摩かしてみると、遭難最初の日に漂流して行つた時に、はいてゐた縞のパンツもその時の儘であつて、海上遙かに漂流してゆくのを確かに見た中川氏は、その死骸が何時の間にか、もとの船に戻つてゐるといふ事に不思議を感じたことであるが、これはをそらく五日の間に幾度か船は潮流となつて、その死骸が船の周圍を漂ひながら、一番駈けに戻つて來たのであつたらう。それにしても、不思議なこともあつたものである。

本船に引き返す三勇士

かくて雪の穴で生活すること五日目には、さしもの時化も漸く風もなるので、これを三頭も拾つたら暫に破船だ。その間には罠を掛けて野獸を捕獲したりしてゐたのであるが、この人が遭難船のあつたことを知つて探がしに來て呉れたのであつた。そこで一同はその人の救ひの手に縋ることとなつて、船中は勿論雪でも掘り出したのであつた。三人は互に力を組合つて、死ねば屍といふ覺悟で海濱に本船を目指して歩んだのであるが、幾度か倒れては起ちあがり、必死で本船に辿りつく迄には約四時間を要したのであつた。

船は依然として漂流に任せてゐたので、皆心して乘つてみると船中は勿論雪でも掘り出したのであつたが、それでも食料品などは大抵濕氣けにはなつてゐなかつたのは幸ひであつた。

その夜中川氏は例のストーブを燃やして、幾つてゐた米を炊き出して飯を焚き、潮流の緩やかになつてゐる船室の蓆を取除いたり、運動したりして自重したが、その中からメーツと一聲に、犬に飛びついて來たのであつた。見ると手首に刺青があつてそれが晃氣のあるコックの手であつた。そして水中で引摩かしてみると、遭難最初の日に漂流して行つた時に、はいてゐた縞のパンツもその時の儘であつて、海上遙かに漂流してゆくのを確かに見た中川氏は、その死骸が何時の間にか、もとの船に戻つてゐるといふ事に不思議を感じたことであるが、これはをそらく五日の間に幾度か船は潮流となつて、その死骸が船の周圍を漂ひながら、一番駈けに戻つて來たのであつたらう。その中にポツ〳〵と十二名の者が全部船に戻つてから、五日目の朝であつた。

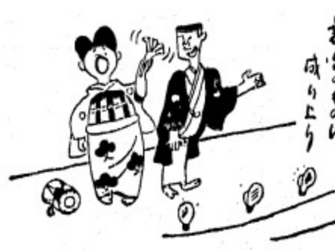
船に戻つてからは天候も好天氣で、ゼームス・ベイといふ處まで送られて、そこにあつたキナリーの船でアラスカ本土に近いウッド・アイランド（9）に送られたのであつた。

結末

この島には毛皮取引會社があつて、その會社の手によつて臨時の病院が建てられ、折りから入港して來た米國軍艦の軍醫に依つて、凍傷した人々は何れも手術を受けたのであるが、生殘者十二名の中で、完全な健康者は中川氏と横山氏の日本人二人だけであつたことには、軍醫も毛皮會社の人々も驚嘆したものである。凍傷した人々は、こゝで四ケ月間療養して、桑港から迎への船が來たので、日本人二人を除くす名は桑港に歸つて行つたが、中川氏達二人は自分の希望でこの島に踏み止まり、その年の冬は獵夫生活を送り、獵虎の死骸を一頭拾ふたりして六百弗ばかり儲けたが、その翌春は病院を建てゝ呉れた毛皮會社のコックとなつて、一夏を過ごしたのであつた。そのコックに住込んだに就いて面白い話がある。

それはカヂアク島で遭難してアイリッシュ人の獵夫に救はれた時に、その小屋に大した食料がないので、ブレッドばかりやたらに燒いたものだが、その時一番元氣であつた中川氏がブレッド燒を手傳つて、名コックの腕前を仕込んだものだ。毛皮會社のコックが逃げて困つてゐるところへ中川氏が、カヂアク島仕込みの腕前をふるつてブレッドを燒いてみせ、早速七十五弗の給料で雇はれたといふのだから、今日の中川源太郎翁青年時代は相當に心臟が强かつたらしい。

その中に桑港から本職のコックが來たので明治二十四年十一月に沙港に行き、翌二十五年六月に加奈陀のステヴストンに來て晩香坡に移つたのである。（終り）



今年の運勢

女の世の中

清水通洲

今年の運勢を極く簡單に占ふて見たが次の通りであつた

◇

本來男世の定理として陽が陰に從ふ世の常ふ事ゝ有の得べきものでなく長は上り少は下るものである然し今年は少が上り長が下る様になつてゐるのは是非ない事であ

る、つまり是を極く平凡な言葉で言ひ現はして見ると陰から女が陽を打ち切に打ち勝つ年で、易に現はれた「澤雷隨」が夫に之を物語つてゐる

「隨」は元いに享るといふ意義であつて、之は女の言ふ事が男を押しの付け何處までも通るといふ意味である、だから本年は女の勢力の强い年ともいへる

◇

斯くの通り陽剛が陰柔、陰柔が陽剛に自重して愈々陰陽和合して繁榮する時である、併しの〳〵が其の時の勢ひで之を國家に害へて見れば陰陽ち國民大衆が大いに氣力旺盛すべきである

本年の物價は初め上る氣味だが、後に下る易に出てゐる、實りが着のみ着の儘で、兎に角この氷島の獵夫に救はれて、そのキャムプで數日を過ごしその人の持つてゐる二十噸ばかりの船で、周圍七哩あるといふ湖の薄氷を碎きながら、ゼームス・ベイといふ處まで送られて、そこにあつたキナリーの船でアラスカ本土に近いウッド・アイランド（9）に送られたのであつた。

結末

この島には毛皮取引會社があつて、その會社の手によつて臨時の病院が建てられ、折りから入港して來た米國軍艦の軍醫に依つて、凍傷した人々は何れも手術を受けたのであるが、生殘者十二名の中で、完全な健康者は中川氏と横山氏の日本人二人だけであつたことには、軍醫も毛皮會社の人々も驚嘆したものである。凍傷した人々は、こゝで四ケ月間療養して、桑港から迎への船が來たので、日本人二人を除くす名は桑港に歸つて行つたが、中川氏達二人は自分の希望でこの島に踏み止まり、その年の冬は獵夫生活を送り、獵虎の死骸を一頭拾ふたりして六百弗ばかり儲けたが、その翌春は病院を建てゝ呉れた毛皮會社のコックとなつて、一夏を過ごしたのであつた。そのコックに住込んだに就いて面白い話がある。

それはカヂアク島で遭難してアイリッシュ人の獵夫に救はれた時に、その小屋に大した食料がないので、ブレッドばかりやたらに燒いたものだが、その時一番元氣であつた中川氏がブレッド燒を手傳つて、名コックの腕前を仕込んだものだ。毛皮會社のコックが逃げて困つてゐるところへ中川氏が、カヂアク島仕込みの腕前をふるつてブレッドを燒いてみせ、早速七十五弗の給料で雇はれたといふのだから、今日の中川源太郎翁青年時代は相當に心臟が强かつたらしい。

その中に桑港から本職のコックが來たので明治二十四年十一月に沙港に行き、翌二十五年六月に加奈陀のステヴストンに來て晩香坡に移つたのである。（終り）

Barber-Ellis of Vancouver Limited

年頭に當り各位の萬福を祝し御發展を祈る

晩香坡市

バアバーエリス會社

電話シーモア八一六〇

Columbia Paper Co. Ltd.

謹賀新年

本年も相變らず御愛顧の程偏に御願ひ申上げます

晩市ホーマー街九九六

コロンビアペーパー會社

電話ツリニテー二五三一

Coast Paper Company Ltd.

謹賀新年

晩香坡市

ビーケンスビルデング内五〇二

コーストペーパー會社

電話シーモア三八八二—三

Smith, Davidson & Wright Ltd.

謹賀新年

年頭に當り舊年中の御愛顧を深謝し倍舊御引立を乞ふ

晩市ホーマー街一一九八

スミス・デビッドソン・エンド・ライト會社

電話シーモア一四三一

J. C. Wilson Limited

謹賀新年

併而舊年中の御愛顧を深謝し尚本年も不相變御引立を祈上候

晩香坡市ホーマ街一〇六八

ヂエー・シーウイルソン會社

電話ツリニチー三四〇四

Vancouver Pacific Paper Co. Limited

謹賀新年

晩香坡市ワター街一六〇

晩香坡パシフィック製紙會社

社長 ダブリュ・ダブリュ・アグニュー

日本人部 堀壽次郎

Consolidated Sales Book & Wax Paper (B.C.) Limited

謹賀新年

併而舊年中の御愛顧を深謝し尚本年も不相變御引立を祈上候

コンソリデーテッド セールスブックエンド ワックスペーパー會社

晩香坡支店支配人 ダブリュ・エチ・スコット

謹賀新年

新春を迎へ御愛顧諸彦の萬福を祈り併せて倍舊の御愛飲を乞ふ

ビアはキヤピラノ 清酒は正宗

キヤピラノ醸造會社

晩市バウエル街一四四五

電話ハイランド四五〇八

CAPILANO BREWING CO. LTD.
Vancouver

謹賀新年

いつも貴方を希望に滿たす其名もラツキー・ラガーで一九三七年を乾杯しませう

直ぐシーモア三一七七へ御電話下さい、無料で配達します

普通のビアと同値

コースト醸造會社

晩市、ビクトリア、新西院

COAST BREWERIES LIMITED
Vancouver　New Westminster　Victoria

今年期待される映畫界の新花形

小林祐策

◇

これは、勿論幸運でもあらうけれど、彼女のパーソナリテーに對するファン博士の鑑識眼の流石に苦いのを思はせるものがあり、今後、彼女の前途はまことに洋々たるものがあると云はなければならない。趣味は骨董と支那料理。

□水島光代

大正十年三月東京淺草生れだから、これ亦大いに變り種とする事が出來るであらう。顏立は惡くはないのだが、何となく鈍重なのあるのが缺點、但し、彼女の場合は明かに、顏よりも藝の方が實物なのだから將來が永く、花火線香のやうな存在には終らないと思はれる。

□久松美津枝

大正三年九月東京淺草の生れで本名は上松美津江。東京千代田高女卒業、昭和七年日活の俳優募集に應じて入社、日活ではあまりパッとしなかつたが、同九年に新興に移り、トーキーになつてから、その巧みなセリフ劍しで賣出して來たもの。「開拓者」「元祿村雨傘」「銀嶺の乙女」「長崎留學生」などは彼女の傑作である。昨年、伊丹萬作監督一派が新興を脫退して聯合映畫に立てこもつたが、その解散と共にデューオー・トーキーに入社、今日に至つたもので、その端正な冷い美貌を買はれて、「野晒村」の久松などと云ふ男裝役をやらされたりしたが、これは非常な好評だつた。以て彼女の一景色たるを見るべきである。

□本郷秀雄

前日水島との「夢心コンビ」の相棒、本郷秀雄も亦、男優・惠まれない松竹現代劇では現在最も前途有望な新進で、上京滯在の日下部だのよりもむしろ既に人氣があるだから、恐らく今年あたり、大船の第一線を承はるのではないかと思はれる。（そうなれば「夢心コンビ」はかりやつてゐる事は出來ないが……）

大正六年生れだから今年やつと二十一の若さで、しかも五尺六寸二分と云ふ堂々たる身長（但し十三貫八百匁は少々心細い）、あくまでも純情らしい風貌が資物である。昨秋の松竹大船作品「少年航空兵」が、まづ、彼ノ名聲と確立したものと云へよう。趣味はキャメラと觀劇と支那料理。

□北見禮子

この名前は、既に大都映畫のスターとして一部ファンにはお馴染みであらうが、彼女の本當の仕事はこれからだと云へる。最初大都映畫を振出しに、松竹下加茂に舞つた時には、一度は暴力團に連れ戻され、すつたもんだをした大都に働いてゐたが、二度目の脫出で遂に成功したもの。下加茂入社早々御大林長二郎の「踊る名君」のお相手を仰せつかつて、一躍、映畫界の中心に乘り出した。大都映畫では主として現代劇ばかりに出てゐた位で、一見近代的な顏立だが、よく見ればバタくさい所は少しもなく、どちらかと云へば純日本的なタイプだから、時代劇への轉向は大いに彼女のために祝福すべきであらう。大正六年千葉縣の生れで、趣味はスポーツとピアノ。

□小林重四郎

本年とつて廿九歳——年齡から云ふならば、彼は新進ではない。又、經歷から云つてもやはり新進とは云へないと思ふが、併し、彼が今年あたり大いにのして來るであらう事を考へると、やはり、この新進列傳の中に入れ置かなければならないやうな氣がする。

身長五尺四寸六分、體重十六貫が示すガツチリしたからだと押出しで、日活時代劇の一異彩であり「維新三銃士」「旅役者お七狂亂」「お旦那半次」「地雷火組」「花の奉遠山櫻」等で、一作一作と地味に人氣をつけて來たが、レコードに唄を吹き込むといふ餘技（？）などもあつて、愈彼の彈味が增した。

□毛利峯子

「美人自叙傳」が前項で出たから、ついでに相手役に移らう。毛利峯子も亦「美人自叙傳」でその位置を確立し、大いに今年の活躍を期待させる一人である。どこか弱々しい感じもあるが、その弱々しさがセンチメンタルでなく、妙なあやぶけない色氣を含んでゐる所が一寸類のない强味だ。

大正四年八月、美人系の秋田生れだ、水泳の前畑秀子嬢で有名な名古屋相山女學園中途退學後、旅役者になつて京都の場末の小屋でインチキ・レビユウか何かで踊つてゐる所を、東活映畫に見出されて東活解散後、寶塚キネマ、千惠藏プロ、新興と經て聯合映畫社に馳せ參じたが、その解散と共に再び新興に復歸しかもの。趣味はダンスとおすし。

まだこの他にも澤山あるし、選擇の標準も人によつて意見があるだらうが、まづ、これは筆者の主觀として判斷して頂きたい。

（右上より）
立松　晃、北見　禮子
本郷秀雄、久松美津枝
（左上より）
水島光代、小林重四郎
毛利峯子、原　節子

□原　節子

默かな大まかなのび〳〵した顏には一種の氣品があつて、今後役などには打つてつけである。

大正九年六月の橫濱生れで本名は齋田昌江、橫濱高女卒業後、松竹蒲田へ入つたのだが日活に移り、更に新興へ移つて今日の盛運に惠まれたものである。趣味は、音樂、觀劇、讀書。

□立松　晃

これは既に相當古くから活躍してゐるが、まづ今年あたり新興現代劇の第一線に立つのであらう。眼と眉の間が狹く、どこかボリシェヴィック系統には若い頃の高田稔にも似てゐるが、もう少し小形な代りにおつとりとした所がある。

野球と柔道で鳴らした「美人自叙傳」は彼の日本映畫界へ於ける處女出演であつたもの。「開拓者」「元祿村雨傘」「銀嶺の乙女」「長崎留學生」などは彼女の傑作である。昨年、伊丹萬作監督一派が新興を脫退して聯合映畫に立てこもつたが、その解散と共にデューオー・トーキーに入社、今日に至つたもので、その端正な冷い美貌を買はれて、「野晒村」の久松などと云ふ男裝役をやらされたりしたが、これは非常な好評だつた。以て彼女の一景色たるを見るべきである。

□本郷秀雄

前日水島との「夢心コンビ」の相棒、本郷秀雄も亦、男優・惠まれない松竹現代劇では現在最も前途有望な新進で、上京滯在の日下部だのよりもむしろ既に人氣があるだから、恐らく今年あたり、大船の第一線を承はるのではないかと思はれる。（そうなれば「夢心コンビ」はかりやつてゐる事は出來ないが……）

大正六年生れだから今年やつと二十一の若さで、しかも五尺六寸二分と云ふ堂々たる身長（但し十三貫八百匁は少々心細い）、あくまでも純情らしい風貌が資物である。昨秋の松竹大船作品「少年航空兵」が、まづ、彼ノ名聲と確立したものと云へよう。趣味はキャメラと觀劇と支那料理。

□北見禮子

この名前は、既に大都映畫のスターとして一部ファンにはお馴染みであらうが、彼女の本當の仕事はこれからだと云へる。最初大都映畫を振出しに、松竹下加茂に舞つた時には、一度は暴力團に連れ戻され、すつたもんだをした大都に働いてゐたが、二度目の脫出で遂に成功したもの。下加茂入社早々御大林長二郎の「踊る名君」のお相手を仰せつかつて、一躍、映畫界の中心に乘り出した。大都映畫では主として現代劇ばかりに出てゐた位で、一見近代的な顏立だが、よく見ればバタくさい所は少しもなく、どちらかと云へば純日本的なタイプだから、時代劇への轉向は大いに彼女のために祝福すべきであらう。大正六年千葉縣の生れで、趣味はスポーツとピアノ。

□毛利峯子

「美人自叙傳」が前項で出たから、ついでに相手役に移らう。毛利峯子も亦「美人自叙傳」でその位置を確立し、大いに今年の活躍を期待させる一人である。どこか弱々しい感じもあるが、その弱々しさがセンチメンタルでなく、妙なあやぶけない色氣を含んでゐる所が一寸類のない强味だ。

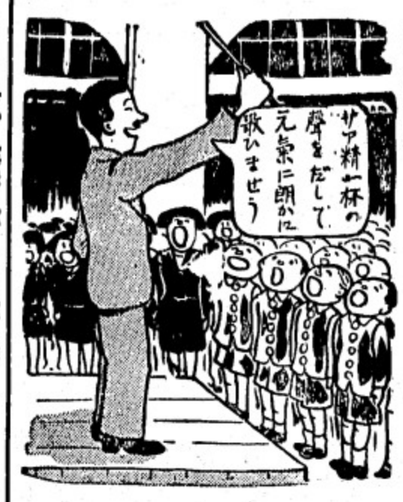
大正四年八月、美人系の秋田生れだ、水泳の前畑秀子嬢で有名な名古屋相山女學園中途退學後、旅役者になつて京都の場末の小屋でインチキ・レビユウか何かで踊つてゐる所を、東活映畫に見出されて東活解散後、寶塚キネマ、千惠藏プロ、新興と經て聯合映畫社に馳せ參じたが、その解散と共に再び新興に復歸しかもの。趣味はダンスとおすし。

まだこの他にも澤山あるし、選擇の標準も人によつて意見があるだらうが、まづ、これは筆者の主觀として判斷して頂きたい。

新年時局景氣

山田夢想夫案
金子晃天畫

小學敎師の國策景氣



月給不如意の不安の中からまつたく解放（？）今までの憂鬱はどこかへふツ飛んで、先行の設計を保つことの出來る今年のお正月のうれしさー

謹賀新年
日本人各位の御發展を祝福申上げます
アロービスケツト製造所
晚香坡市
ナシヨナルビスケツト會社
National Biscuit & Confection Co. Ltd.

謹賀新年
各位の御發展を祝します
晚市西ヂヨーヂヤ街一七四七
イーストホープ兄弟商會
電話ダグラス六四七
Easthope Brothers Limited

謹賀新年
昨年中は一方ならぬ御愛顧を蒙り深謝致します
尙本年も相變らず御引立の程御願申上ます
晚市ウォーター街六八
船具品一切
エドワード リプセット商會
Edward Lipsett Ltd.
Commercial Fishing

謹賀新年
晚市西ヘスティングス街八三七
パシフイックビルデング內
アソシエーテツド
材木輸出會社
電話シーモア三二〇四
Associated Timber Exporter of B. C. Ltd.

The W. H. Malkin Co. Ltd.
謹んで新年を祝し
茲に日本人各位の御發展を祈り永遠の御愛顧を希ひ上げます
バツカース・エンド・ブレンダース・オブ・ベストマルキンテー
エンド・カフイ
マルキン會社

賀正
ダンレビー街三〇四
アームストロング
葬儀社
電話ハイランド一四一
Armstrong & Co.

賀正
本年も不相變御引立の程御願申上候
フユオコ靴修繕所
J. Fuoco
メーン街二一五
電話シー六二四

賀正
メーン街、バウエル街角
メルボーンホテル
ビヤパーラー
Melbourne Hotel
Powell at Main

日本人諸賢に謹んで新年の御祝詞申上げます
一九三七年一月一日
ホームオイル會社
Home Oil Distributors Ltd.
HOME GAS

謹賀新年
The Hub Ltd.
併而舊年中の日本人諸君の御愛顧を深謝し、尙本年も不相變御引立の程願上候
東ヘスティングス街四五—四七
ハブ商會

Hudson's Bay Company.
INCORPORATED 2nd MAY 1670.
謹賀新年
舊年中の御厚情を謝し
皆樣の御發展を祈る
一千九百三十七年元旦
ハドソンベー商會

イロエロ取揃へて 正月の初挨拶

大いにお笑ひ下さい あけまして　めでたう

酒井山は色々と御愛嬌を振り撒らす——　皆さん目吹の御贔屓に預ゆるため、ならず者の棟梁春兵衛、久米仙人、松原村の三人、けふこそはと改まりまして茲に筆を起しお笑ひ草にお書きましたのが次の作文、三人揃つて御挨拶するが紙面の限り勧めまするに依つてうまく行きましたる時は何卒御恕来の程偏に願上げます——

正月早々 娘の會話

櫛稲堂春兵衛

「ミーは今夜へでとをしどるんよ」

「ユーはお正月やといふに、なにをそんなに務へとるんや」

「ミーね、この頃クヅしてんのよ、ユーも知つてるジャツキが好らなんだけれど——」

「好らなんだけど——どうしたの、まだオーケーにならんのか」

×　×

元日の午下り、抽斎が廻礼に成る家へ行きますと、隣家から若のやうな會話が聞ゆます。老人の耳にはしない事とは存じましたが、傍目で一寸隣家を見ますると「ラヴ商」に惚つて居りますのが、十六、七で御座いませうか、大柄ながらも花盛んの子供離れがした容りの顔、目元口元大人並では御座いませうが、どうもヤングー娘りの娘さんらしう存じました、その相手になつて居るのは小がらな色白な、娘さんとも坊ちやんとも解らぬやうな若衆、五の——次の間際をお聞き下されば、その人柄はおわかり下さることと存じます

×　×

「ミーね、ジャツキに一度言つたの、そうしたらジャツキはユーのやうなベビーを連れてはダンスにも、ライドにも行かれんおやないかつて、ミー幸かつたの去年の時は——」

「ハハヽ、ベビーはよかつたねでもジャツキはフレンドが多過ぎるんおやろう、ミーなんかも近頃ヤング・キッドのお連れは真平だ もの、ミーはゆうべダンスに、それ、ダーリーしてソイクはもうベビーを連みに病院に行つてるヂャーレーと行つて、ビアを飲むやら腕分骨折わ、そしてホテルに二人で宿つてさうさ踊つた許りよ、ヂャがコリの顔してたからミー飛んで來た所よ——」

×　×

いやはやらいことを抽斎は正月々々から聞いたもので御座いますな、何れこの娘さん達には父もあり母もあることと存じますが、呆敗れた娘さんもあつたもので、この娘さんに迫々と仕込まれる御座いませう幼い方の娘さんも嘸に前途有望と存じますな。

美人三代記

久米の仙人

晩春坂日米人の初代美人の横綱は「おせと」といふオナゴであつた大陸日報社が美人投票をやらかして、バウエル街頭を賑の如くに初ち取らしたもんぢやが、その時に美人日下明日に當選した別嬪が、名を「おせと」と申して大磯の生れ、三代目横綱とまでは行かぬが、二代目横綱といふ段にたち至つたが、今日美彩界は時に非常物騒の時代であつて、歌舞伎座の傘の中から一名の横綱を選定することは、六ケ敷いのではないが、恐ろしいのである。茲で少しばかりお世辞を申して置くなら、初代、二代共に三味線と伸する熱情が出來なかつたのである。ニッポンで有名な横綱大砲ぢ自然に押しの技專門に押切つて、婦名を天下に轟かしたわけであるが、今日此頃の横綱候補者は何れも綺麗な顔ばかりであることと御時勢とは申しながら、晩春坂も文明開化となつたもんおや。

丑年に因む 牛の漫談

松原村平

松原　村平さん久し振りやないかせわお目でたう、ねー色してなんな、朝ツばらから御々御せいが出て御始廻りも早うおまんな

村平　そツ四、五日廻りもしてなねー気持ちや、皆々貧乏人には正月が一番ねーや、鬼に角、汚い根性やないが、只で飲めるさかいな

松原　いい、正月早々からうす汚い根性を出すなよ、みつともないぜ、第一、そんな根見でるるさかい、いつもビイノーしてぬるんやろ

村平　そいつは、呼牛呼鳥、おせはんの批評に任しまつさ

松原　うまい事を云ふな、今年は牛の年やさかいな、ところで、其の呼牛呼鳥といふのは何の事や

村平　わてもツロ覚へに覚へてぬるだけではんまの事は知らんが「是非は人の批評に任してやな自分は關係せぬといふ意味」やさうな、併し松原はん、わて等「牛」と言へばノロ〜した事を聯想しまんが、牛でも喰に取つて見まんど卸々勇壮なもんでんね、たとへばや、わてが朝ツばらから此んなに飲んでやな、大いに天下國家を論ずる事を食牛之氣といふやないか、今年は牛の年やさかい大いにやるやな

松原　はんまや、昔からおせはんの様な呑兵衛を牛飲といふてるな、併し一寸悪い事がありまんな、飲馬食と言つてな、何も變のない事を言ひまつせ

村平　おい、よせやい、口の悪い事は、おせはん等にわての道理を説いたつて解るもんかい、それこそ對牛彈琴や

松原　おせはんは見かけによらんもの知りやな、流石は毎日たんとツクを讀んでるだけあつて卸々感心や、わてはな、ブックは澤山持つてるまんが、それこそ汗牛充棟でな、一時流行つた言葉でいふならツンドク（積讀）や、あかんなこんなこつちやちゆうやないか

村平　おせはん等はな、小さい事にこせ〜するさかい物覚えが悪いのや、牛刀割鶏といふて昔からの喩がある程や

松原　はんまや、おせはんの様な賢い人とわての様なあかん者と斯うして世の中で同じ様な待遇を受て生きとるのは全く妙なものでんな、牛驢同色といふがな

村平　知らんと思つてたら、ひらい事知つてるやないか、併しわてから比べたら九牛の一毛やろ

松原　まだ知つてまつせ、わては頭は空ツぽやけど力がたんとある、此んなのを鬼牛即行ていふな

村平　力のある事に牛をたとへるがまだ牛といふても卸々色ツぽい所もありまんな、牽牛星といふて星の世界の艶話があるな

松原　緑起の悪い言葉に牛蹄鬼、牛頭馬頭、牛頭天皇といふのもありまんな

村平　英語にやつてあるやないか牛酪ちバタが、何にしても今年は牛の年やさかい、せいぜらや蝙牛の歩みを続ける事や

謹賀新年　カームルームス　鹽見彦太郎　晩市バウエル街五二三半　電話ハイ一三八八アール

謹賀新年　晩市バウエル街二一四　山崎時計店　山崎庄太郎　電話シーモア六〇四一

謹賀新年　晩市アレキサンダー街五七八　水野富美代　電話ハイ三四九七エキス

謹賀新年　モダーン・グロサリー　國府田道之助　晩市西ブロードウエー一〇九七　電話ベヒユウ七五〇〇

謹賀新年　菓子、果物、煙草　神原商店　晩香坡市メーン街二四九　電話ツリニテー五八一二

謹賀新年　晩市リチヤード街五九五　狩谷悦次　電話シーモア一一八

謹賀新年　晩市バウエル街三五九　かすが菓子店　電話シーモア二七二九

謹賀新年　晩市バウエル街三五七　鈴木菓子店　電話シーモア七九三五

謹賀新年　晩市東カドバ街七九〇　カドバ・グロサリー　川口房造　西河原菊三郎　電話ハイランド三一六〇

謹賀新年　晩香坡市メーン街一一三　ターメー自轉車店　電話ダグラス五五五九

謹賀新年　晩市バウエル街二一三　ラヂオ　速水繁雄　速水薪炭　電話シーモア四一二一　住宅ハイ五三六二ワイ

謹賀新年　晩香坡市ゴーア街二〇五　ラヂオ、電氣器具　山タキシ　電話シーモア一四一四

謹賀新年　晩香坡市シーモア一三五三　林グラーヂ　林藤兵衛　電話ツリニテー四六　住宅西第六街五一六　電話フエア二五九七エル

謹賀新年　晩香坡市バウエル街二一一　セフテーグラーヂ　電話ダグラス五五七四

謹賀新年　晩市　ーンプレキサンダー街角　晩香坡サーヴィス　辻龍太郎　電話ツリニテー四三四四

謹賀新年　晩市バウエル街二六四　杉山運送舍　杉山新吉　電話ダグ二〇五九

謹賀新年　晩香坡市ゴーア街貳貳貳　運送業　薪石炭販賣　名畑運送社　本宮　電話シーモア一〇八九

謹賀新年　晩香坡市メーン街二二一　メープル・カフエー　堀居梅次郎　電話シーモア四五七〇

謹賀新年　晩市プリンセス街二一五　ユーレカ・ルームス　鈴木國藏　電話ハイランド二一八一エル

謹賀新年　晩市東ヘスチングス街一二三　ホテルニウライオン　電話ダグラス五二六九ワイ

謹賀新年　晩市ダンレビー街一四三　上西旅館　電話ダグラス四七八五アール

謹賀新年　晩市バウエル街三一四半　バラードルームス　半田律次　電話ダグラス四六七三アール

謹賀新年　晩市東カドバ街一三九　ニウハーバールームス　宇田善吉　電話シーモア二四九〇エル

謹賀新年　晩市バウエル街三一六　キングルームス　山本陸郎　電話ダグラス四六七一アール

謹賀新年　晩市バウエル街三九六　ウオールドホテル　高橋くの　電話シーモア三七八八

謹賀新年　晩市バウエル街三六六　サンルームス　塚本正人　電話ダグラス五〇五一アール

謹賀新年　大井藤吉

謹賀新年　晩市バウエル街一二六　電話シーモア四六二四　ハムプトンルームス　尾前信夫

謹賀新年　晩市バウエル街一七六　ニユートンルームス　小柳佐一郎　電話シーモア四九九二アール

謹賀新年　晩市バウエル街三九一　ビクトリルームス　中島田格太郎